

2020(令和2)年 5月 22日

保護者のみな様へ

発寒ひかり保育園

園長 吉田 行男

新型コロナウイルス感染症対策の一環として  
(お願いと参考資料)

日頃より、当園の保育、ならびに新型コロナウイルス感染症対策について、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

「新型コロナウイルス感染症予防」や「新しい生活様式」について、保護者のみな様と共に再確認するため、園からのお願いと新聞の切り抜きなどの資料を配布いたします。

ご家庭での感染症対策に是非役立ていただきたいと思います。

現在も登園自粛要請期間は継続中でございます。

お子さんや保護者のみなさま、職員の命を守るため、何卒ご協力を  
よろしくお願いいたします。



< お願い >



- ・ お子さん、やご家族の**毎日の検温**をお願いいたします。  
0歳1歳のお子さんは連絡ノートに、2歳以上のお子さんは、登降園表の横にある検温表に、体温をご記入ください。
- ・ うさぎ組以上のお子さん、送迎者の方は、**マスクの着用**をお願いいたします。  
また、子ども用の布マスクの寄付をいただきました。マスクをご希望の方(うさぎ組以上のお子さん)は保育士までご相談ください。
- ・ 玄関での**酸性水による手指の消毒**をお願いいたします。

みな様のご理解・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

# ① 40~60秒 じっくり手洗い

デジタル版で動画  
が見られます



※①・② 2020年5月5日 朝日新聞より抜粋



- ①液体せっけんを出す。ポンプ式の場合、手の甲で押して出すのが望ましい
- ②指先を逆側の手のひらに立ててこすり洗い
- ③両手の指の間を交差させてこすり洗い
- ④親指のつけ根を逆側の親指で入念にこすり洗い。両側の手首の周りもぐるりと
- ⑤最後に流水でよく洗い流し、きれいなタオルやペーパータオルで手を拭く

## ② 衛生マスクの着用方法

聖路加国際大学大学院の  
大西一成准教授による

① 着ける前に手を洗う

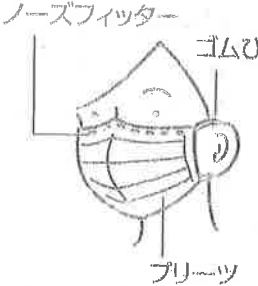
② ノーズフィッターにカーブをつけながら曲げる

③ 鼻にフィットさせるためWの形を意識して曲げる

④ プリーツを広げて着ける  
外側になるのは広げた時に張り出した方

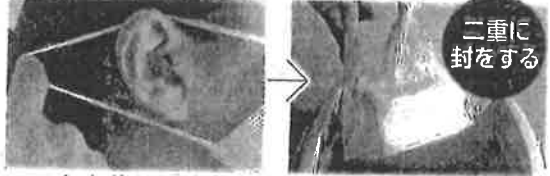
⑤ 隙間がないかチェック

鼻の形や付けはマスクの隙間を作るので決まらぬように注意



あなたの下までずり下がって濡れているか

捨て方 富山大付属病院の山本善裕教授による



マスク本体には直接触れず、必ずひもの部分を持つ  
ポリ袋などに入れて口を縛り、ふた付きのごみ箱などに入れる

## ③ 「新しい生活様式」の実践例

政府の専門家会議の資料から作製

2020年5月5日  
朝日新聞朝刊より抜粋

**基本的な感染対策**  
人との間隔はできるだけ2m(最低1m) / 症状がなくてもマスク着用 / 家に帰ったらまず手や顔を洗う

**日常生活で**  
毎朝体温測定・健康チェック  
「3密」の回避(密集、密接、密閉)

**買い物**  
電子決済の利用  
サンプルなど展示品への接触は控えめに

**娯楽、スポーツなど**  
ジョギングは少人数で  
歌や応援は、十分な距離かオンライン

**公共交通機関**  
会話は控えめに  
混んでいる時間帯は避けて

**食事**  
大皿は避けて、料理は個々に  
対面ではなく横並びで座ろう

**冠婚葬祭など**  
多人数での会食は避けて  
発熱やかぜの症状がある場合は参加しない

**働き方**  
テレワークやローテーション勤務  
会議や名刺交換はオンライン

## 参考

④

2020年5月4日 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議  
「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(抜粋)

### 「新しい生活様式」の実践例

#### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本: ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

#### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

#### (2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 □ 咳エチケットの徹底 □ こまめに換気
- 身体的距離の確保 □ 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養



#### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

**買い物**

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて早く済ませ
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

**公共交通機関の利用**

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

**食事**

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

**娯楽、スポーツ等**

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

**冠婚葬祭などの親族行事**

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

#### (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 □ 時差通勤でゆったりと □ オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン □ 名刺交換はオンライン □ 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定